

第1日

9月3日

土

昼の催し

シンポジウム [13:30~15:30]

【井月と伊那の勘太郎 -アウトローへのまなざし-】

[参加料] 500円

高橋敏 <国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学名誉教授>

伊藤春奈 <「勘太郎」とは誰なのか?の著者>

司会: 北村皆雄<井上井月顕彰会>

コーディネーター: 宮下宣裕+捧剛太+北村皆雄

企画: 井上井月顕彰会+伊那市創造館

映像とシンポジウム [16:00~17:30]

【井月と山頭火】

[参加料] 500円

◎映像『井月と山頭火』(村上護と北村皆雄の対談映像)

◎シンポジウム 山頭火はなぜ井月を慕ったか?

窪田耕二 <山頭火ふるさと会会長>

司会: 森 忠彦 <毎日新聞編集委員> + 森 獏郎 <板画家>

企画: 井上井月顕彰会+山頭火ふるさと会

夜の催し

資料映画上映 [18:30~19:35]

【伊那の勘太郎 (昭和18年作品)】

主演: 長谷川一夫 山田五十鈴

演奏 [19:50~21:00]

【虚無僧尺八 一幻の吹禅が甦る-】

[参加料] 前売券/1000円 当日券/1500円

企画: 井上井月顕彰会+伊那市創造館

第四回

千両千両

[開催日]

平成28年

9月3日(土)▶4日(日)

[主会場]

いなっせ

(伊那市生涯学習センター)

6階ホール

特別上映

9月3日

▶4日

伊那旭座にて

アンコール上映

【ほかいびと -伊那の井月-】 120分

監督: 北村皆雄 主演: 田中 泯

ナレーション: 樹木希林 音楽: 一柳 慧

9月3日 09:30~(監督挨拶あり)  
13:30~

9月4日 09:30~(監督挨拶あり)

【勘太郎月夜唄】 78分

昭和27年作品、伊那の口ケ作品

主演: 長谷川一夫 乙羽信子

9月3日 11:45~  
16:45~

9月4日 11:45~

[料金] 前売/1300円(2本) 当日/1500円(2本)

企画: 井上井月顕彰会

第2日

9月4日

日

第25回 信州伊那井月俳句大会

当日句受付 [9:00~12:00]

オープニングアトラクション (伊那西高校合唱クラブ)  
[10:15~]

開会式 [10:30~]

【事前投句の表彰】

表彰・講評 [10:45~12:00]

講演 [13:00~14:30]

【句から覗いた井月 -酒と食べ物-】

伊藤伊那男 <俳人・「銀漢」主宰、駒ヶ根出身>

協力: 井上井月顕彰会

【当日句の表彰】

表彰・講評 [14:40~15:30]

【懇親会】 [15:40~]

主催: 信州伊那井月俳句大会実行委員会

信州伊那谷・俳句の里



長野県地域発元気づくり支援金活用事業

【主催】 千両千両井月さんまつり実行委員会

伊那市・伊那市教育委員会

事務局 (伊那市教育委員会 生涯学習課内)

0265-78-4111(内線)2723

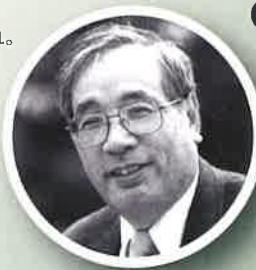
[題字: 藤井利衣子]



今年の千両千両井月さんまつりは...

●シンポジウム  
「井月と伊那の勘太郎」

9/3(土)  
13:30~15:30



井月と伊那の勘太郎

●「伊那の勘太郎」はかつて大ヒットした股旅物の映画の主人公です。最初の作品は昭和18年の「伊那節仁義」。戦時体制の中で、娯楽時代劇が製作されたのは、主人公勘太郎が、幕末の尊王攘夷派「天狗党」を助けるという筋立てからです。小畑実の歌う主題歌「勘太郎月夜唄」も流行し「伊那」の名前は全国区となりました。戦後昭和27年、「勘太郎月夜唄」が、伊那町常円寺・長谷・高遠・美鷹などで大ロケーションを敢行して製作され、これも大ヒット。春日公園の「伊那の勘太郎碑」「勘太郎まつり」を生むきっかけとなりました。



伊藤春奈(いとうはるな)1978年生まれ。伊那市出身。出版社、編集プロダクション勤務を経て、2006年よりフリーランスの編集者・ライターとして雑誌・書籍・ムックなどの媒体で活動中。著書『真説!幕末キャラクター読本』(アスペクト)、『勘太郎とは誰なのか? 伊那谷の幕末維新と天狗党』(信濃毎日新聞社)。



北村皆雄(きたむらみなお)1942年生まれ。伊那市出身。映画監督・ヴィジュアルアークロア代表・早稲田大学アジア研究所招聘研究員。映像作家として数々のドキュメンタリー作品を発表し、映像民俗・人類学というジャンルを確立させる。2011年「ほかいび」と伊那の井月」を発表。2015年より井上井月顕彰会会長。

●特別上映

いなっせ6階ホールで! 旭座で!  
9/3(土) 18:30~19:35 9/3(土) 9/4(日)



伊那節仁義(伊那の勘太郎)  
昭和18(1943)年東宝  
監督:滝沢英輔  
主演:長谷川一夫 山田五十鈴



勘太郎月夜唄  
昭和27(1952)年大映  
監督:田坂勝彦  
主演:長谷川一夫 乙羽信子

9/4(日)  
10:30~

●開会式  
~事前投句の表彰

13:00~14:30

●講演会  
「句から覗いた井月  
—酒と食べ物—」



伊藤伊那男(いとういなお)1949年生まれ。駒ヶ根市出身。俳人。証券会社勤務などをを経て、2011年から結社「銀漢俳句会」を主宰。神保町の俳句酒場「銀漢亭」の店主でもある。句集に『知命なほ』ほか。評論に『漂泊の俳人 井上井月』(ともに角川学芸出版)など。

14:40~  
●当日句の表彰

15:40~  
●懇親会

- 正藤酒店
- 菊香堂
- グリーンファーム
- 小林書店
- 駒ヶ根水車

sale of goods  
物販



●種山頭火(たねださんとうか)1882~1940)は、山口県西佐波令村(現 防府市)出身の自由律の俳人。酒を好み、放浪に生きた山頭火は、井月の句を繰り返し読み、憧れを抱いていたといします。



生涯に2回、井月の墓参を試みて伊那谷へ向かいますが、昭和9年には病気で諦め、昭和14年によやく墓参をかなえます。

山頭火は井月のお墓の前で、「お墓したしくお酒をそぐ」「駒ヶ根をまへにいつもひとりでしたね」と詠みました。

●シンポジウム「山頭火はなぜ井月を慕ったか?」

9/3(土)  
16:00~17:30

窪田耕二(くぼたこうじ)1939年生まれ。下関市出身。山頭火ふるさと会会長・前防府日報社主。40年来の山頭火ファンとして、自由律俳人 種山頭火の顕彰活動と、防府市の地域歴史情報を発信中。2017年10月防府天満宮前に山頭火記念館を開館予定。



森忠彦(もりただひこ)1963年生まれ。福岡県出身。山頭火ふるさと会特別顧問。毎日新聞編集委員・毎日小学生新聞元編集長。1991~93年に駐在した防府市で、全国の山頭火ファンを紹介する記事を連載したことが「全国山頭火フォーラム」がスタートするきっかけとなった。



森獺郎(もりばくろう)1942年生まれ。板画家。千曲市在住。棟方志功の板画に学ぶ。日本板画院同人。杏の里板画館主催。井月と山頭火をテーマにした板画作品を数多く制作。



旅の柄  
「井月と山頭火」  
森獺郎板画展  
9/1(木)~9/6(火)  
はら美術  
2階ギャラリー  
伊那市坂下3303  
0265-74-0751



●虚無僧尺八  
—幻の吹簫が甦る—

9/3(土) 19:50~21:00  
出演/話:神如正(じんによし) 演奏:神 令(じんれい)  
演奏:田嶋謙一(たじまけんいち)

中世に端を発したとされる尺八。天蓋とよぼれる福み笠をかぶり、旅に明け暮れて尺八を吹き抜くことで悟りを得る。祈りのための吹簫、その知られざる虚無僧の無邪心・尺八音楽の世界が一夜出現する。

- 伊那市創造館(常設):井月展示室 特別展示(8/27~9/12):伊那の井月さん(橋爪まふ原画展)
- 伊那図書館:常設展示
- きたっせ(8/29~9/11):井月の句心を書で描く(書家:向山竹條と会員作品)
- いなっせ2階ギャラリー(8/27~9/4):井月さんの部屋 (書斎:池上信子 言の葉染:細田伊佐夫)
- 市役所1階市民ホール・いなっせ6階ホワイエ(8/26~9/1):井月句碑パネル展示



主催:千両千両井月さんまつり実行委員会  
・伊那市・伊那市教育委員会  
共催:一般社団法人伊那市観光協会  
後援:特殊法人伊那商工会議所  
・伊那市商工会・伊那市観光株式会社  
協賛:さかや正藤・合資会社水車  
・言の葉染(有)細田染織・菊香堂